

令和5年度

一年の取り組み

貝塚市立中央公民館

貝塚公民館は70周年を迎えました



第12回 貝塚 公民館大会 2/4 (日) 参加：450人

公民館ができるまちづくり ～つながる、関わる、育つ、そして地域へ～

講師 山崎 亮（コミュニティデザイナー）
牧野 篤（東京大学大学院教育学研究科教授）

貝塚公民館大会は1年に1度、様々な人や世代が集まり公民館を取り巻く課題を考える機会です。午前の部は、乳幼児親子のダンスに始まり、山崎亮さんの講演がありました。講演は、地域課題を自分たちで解決する各地域の事例がたくさん紹介され、山崎さんの巧みな話術にみなさん聞き入っていました。

昼食にはまかないがあり、豚汁とおにぎりで一息ついた後、午後の部がスタート。2クラブ発表の後、牧野篤さんの講演を聴きました。「ちいさなしあわせを重ねあわせる」と題し、つながりとかかわりの土壌を耕していく過程に学びがあり、社会の豊かな基盤になると語られました。

講演のあと、午前の部のアンケートをもとに会場トークの時間が設けられ、質問や感想など意見が交わされました。長時間にわたる大会でしたが、講師の話に感銘を受ける人も多く、家にじっとしていないで、社会に出て活動することが大事！と、何かを始めようという気持ちになった人もおり充実した大会となりました。

令和5年度全国優良公民館表彰
を受けました！



第67回 5/27・28 参加者 延べ5,097人 中央公民館まつり

ーはばたけ地域へ
公民館まつりー

中央公民館まつりは、中央公民館と館を利用する団体が実行委員会を組織し、協働で企画運営し、地域のみなさんと触れ合う事業です。コロナ禍では中止や規模縮小となりましたが、今回屋外の模擬店及び野外舞台も復活、ほぼ通常通りに開催できました。

開催にあたっては、PR映像も作成しホームページやロビーで宣伝しました。

公民館まつりに先駆け5月14日にはバザーを開催。皆さんから提供された未使用の日用品、衣服類など約1200点が並べられ、賑わいました。



屋内では舞台発表、作品展示、写真の映像展示や展示即売会が行われ、屋外では野外舞台と模擬店の出店がありました。

舞台のオープニングは民謡連盟と実行委員会メンバーによる「貝塚音頭」で、つげさんも登場し和やかで楽しい開会になりました。

来場者や利用団体、実行委員会のみなさんの満足そうな笑顔を見て、人々が「集い、つながる」ための公民館まつりの大切さを改めて感じることができました。

貝塚プレーパーク 30周年記念フォーラム

「遊ぶ、育つ、生きる」

12/2 13時～15時半 参加者 70人

講師：天野 秀昭さん（NPO法人「プレーパークせたがや」理事）

冒険あそび場プレーパークは第四中学校の横にある青少年野外広場で年4回（約12日間）開催されている遊び場です。

「自分の責任で自由に遊ぶ」ことをモットーに活動して30年が経ちました。活動の原点に立ち返り今後の運営を考えようと、天野秀昭さん（「プレーパークせたがや」理事）を招いてお話を聴きました。

また、現役で活動している人やプレーパークで育ち親になった人の経験談などを交えて、遊び場づくりの大切さを共有し、参加者と一緒に考えました。



遊びが大事って、
なんで大事なの？

生きるチカラって
なんだろう？



【保育つき講座】 おや子教室

10/31～12/12 火曜日（全8回）受講者12組

中央では12組の申し込みがあり、子どもの年齢も1歳から3歳までで13人という久しぶりに保育つき講座らしい賑わいのある講座となりました。

内容として「子どもの歯（顎）について」に取り組み、受講者の中には今まさに気になり悩んでいる親もいて「目からうろこ」という感想がでるほどの話を聞くことができました。

また、子どもの遊びについて学ぶことを軸として、座学と体験の場として「プレーパークで思いっきりあそんじゃおう」に取り組みました。

プレーパークでは、子どもたちが自然の中で遊ぶキラキラとした笑顔が印象的でした。



【講座】 このゆびと一まれ！

童謡・唱歌をみんなで歌いましょう

10/16, 23, 30, 11/6, 13 月曜日 13時半～15時（全5回）受講者27人



コロナが2類から5類になったこともあり、そろそろ元気に大きな声を出すような楽しい講座をしたいと開催しました。

定員20人とはしましたが、93歳の車いす使用の人から30代の小さい子連れの人まで27人の申し込みがありました。

目標を”中央公民館まつりの舞台に立って歌いましょう”と掲げ、始まった講座。毎回、帰りには「楽しかった」と言いながら公民館を後にしていました。

ぜひ、一緒に歌ってみようと思ったら

”このゆびと一まれ！”

月に1回程度なら継続して活動したいということで、12月から月に1回の活動を始めることになりました。

【講座】 介護者（ケアラー）支援の課題とコミュニティづくり

1/28（日）受講者 10人 講師：津止 正敏さん（立命館大学教授）

中央公民館では偶数月に「介護について語り合う場」の講座を開催していますが、男性の参加者も増加し、社会全体でも男性介護者の数は増加傾向にあることから「男性介護者と支援者の全国ネットワーク」の立ち上げに関わり、支援活動をされている津止教授に、活動を通して見えてきた介護者支援の課題と現状をお話いただきました。

お話の中で印象的だったのは、江戸時代にも男性介護休業制度があったことや、男性介護者の実体験に基づいたエピソードです。男性介護者の支援で見えてきたことは「介護者を孤立させず、介護の苦しさ、悩みを話することができる仲間を増やすことの重要性」です。

先生から「介護は大変だが、そればかりではなく、幸せに感じる時や喜びもある」と話され、参加者からは「色々な事例を聞いたり話したりする場が大事であることを知りました」との感想がありました。



青少年対象事業



- ・レッツTRY
(中高生の活動支援)
- ・夏の子ども講座【12講座】
- ・少年少女合唱団

子育て支援事業



- ・保育つき講座「おや子教室」
- ・赤ちゃんルーム
(0歳児親子や妊婦の交流の場)

成人対象事業



- ・Newつるかめ大学（おおむね65歳以上の方対象の講座）
- ・高齢介護課共催講座
 - ①いすヨガ
 - ②おひとりさま・少人数お手軽料理講座
- ・空サイズ
- ・スマートフォン体験講座
- ・このゆびとーまれ！
童謡・唱歌を楽しく、みんなでうたいましょう！

共生社会づくり事業



- ・日本語会話よみかき教室
(日本語学習支援講座)
- ・夢にチャレンジ（心身に障がいのある方対象の講座）
- ・ホッとワーク（視覚に障がいのある方対象の講座）
- ・ふれあい料理（心身に障がいのある方対象の講座）
- ・介護について語り合う場
- ・介護者（ケアラー）支援の課題とコミュニティづくり

文化振興事業



- ・クラシックコンサート
- ・ジャズライブ
- ・春一番コンサート
- ・ピアノリレー

団体支援事業



- ・中央公民館クラブ協議会
- ・貝塚子育てネットワークの会
- ・貝塚ファミリー劇場
- ・貝塚学習グループ連絡会
- ・貝塚市民踊連盟
- ・貝塚市クラシック音楽家協会
- ・貝塚市合唱連盟
- ・貝塚市美術協会
- ・貝塚市日本民謡連合会
- ・貝塚市軽音楽連盟
- ・利用者団体代表者会議

人材育成事業



- ・遊び隊
(幼稚園・小学校等で昔遊びを伝えるボランティア)
- ・保育ボランティア
- ・日本語会話よみかきボランティア
- ・料理ボランティア
(ふれあい料理)
- ・傾聴ボランティア

地域連携事業



- ・第67回中央公民館まつり
- ・第67回中央公民館まつりバザー
- ・ロビー活用
- ・地域出前講座
- ・移動公民館「健康サロン」

三館連携事業



- ・三館利用者連絡会
- ・しゃべり場★公民館
- ・貝塚公民館大会
- ・三館保育ボランティア養成講座
- ・公民館クラブ講師交流研修会

令和5年度の講座・事業を
より詳しく知りたい方はこちら↓



<https://www.city.kaizuka.lg.jp/ko-minkan/ayumi1/2020ayumi.html>

講座の開催情報は随時掲載予定！

Instagram



Facebook



公民館HP

